

介護老人福祉施設

安誠園だより

安誠園の季節行事

安誠園では、ご利用者の皆様に四季を感じていただける様々な行事を実施しています。いずれも、身近な自然とのふれあいや手作りの催しを行い、アットホームな雰囲気を大切にしています。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した行事もありましたが、ご利用者の皆様にかけがえのない時間を充実して過ごしていただけるよう創意工夫に努めています。

春

庭園散歩

気候の良い日は外の空気と陽ざしを受けてリフレッシュします。

気分が若返り、元気になれます。



夏

かき氷喫茶

天然氷を昔ながらのかき氷機で削るときめ細かくまろやかなかき氷ができます。

お好みのシロップを添えていただきます。夏には欠かせない一品です。



秋

お祭り喫茶

毎月開催する喫茶店では、お好みの飲み物とともにケーキ、和菓子を召し上がっていただけます。11月は、庭で焼き芋を楽しみました。

やっぱり、出来立てがおいしいです。



冬

獅子舞

新春には、職員の発案で正月らしい「獅子舞」が施設内を練り歩きました。

手作りの素朴でどこかユーモラスな獅子にご利用者や職員の間に和やかな空気が流れました。



トピックス

〔庭園の紹介〕

安誠園では、開設以来、庭園の整備に力を入れてきました。庭では毎年、梅、桜、ハナミズキ、つつじ、アジサイなどが色とりどりに花を咲かせ、芝生や木々の緑とコントラストが見事です。

これらの花木は、安誠園44年の歴史の中で育ち、見事な花を咲かせ、季節の移ろいを私たちに感じさせてくれます。

これからも大切に守っていきます。



庭園と小道は、ご利用者の散歩（歩行訓練）やくつろぎの場所として、貴重な空間となっています。

周辺を含め、恵まれた自然環境にある施設ならではの過ごし方ができます。



ホームページを、是非ご覧になってください。

安誠福祉会

検索

<https://www.anseifukushikai.or.jp/>

ご利用者からひとこと



Sさん

私は、二人兄弟の長男として生まれました。早くに両親を亡くし、学校に行くのも困難でした。若い頃から農家を営み、キュウリやナスなど、様々な野菜や、夏は米、冬は麦を作るなど、沢山働きました。

また、畑を買い取り、その野菜を売るなど、八百屋も営んでいました。野菜によって経費や利益を考えながら買値を決めるなど、経営が大変でしたが、昔は自分の作ったものを自由に売買できない時もあったので、やりがいもありました。ここでの生活は団体生活がよいです。昔は苦労があったけれど、のんびり過ごせています。



ボランティア活動の紹介



フラワーアーティストの飯塚様には長年ボランティア活動でご支援いただいています。

毎月、四季折々の生け花を飾っていただき、うるおいのある日々を過ごさせていただいている。

いつもありがとうございます。

【令和2年度の委員会活動】

安誠園では介護職員が中心となり、利用者のケア向上のため行事・リハビリ・口腔ケア・排泄・事故防止・環境整備・業務改善委員会の7委員会が活動しています。

例えば、排泄委員会では、ご利用者の身体能力・コミュニケーション能力・排尿量等の調査を通じて、その方に合った排泄介助パターンを決めています。そのために、新しく入所された方については、尿量測定や排便の状態の確認を行っています。また、令和2年12月には、介護用品のアドバイザーを招いて、オムツや尿取りパットの効果的な使用方法を学びました。ご利用者が排泄のことで心配することが少なくなり安心して暮らしていただきたいと考えています。

さらに令和2年度からは、介護・看護記録の電子化に取り組んでいます。タブレット端末に体温や血圧・食事摂取量・日々のご様子などを記録し、施設全体での情報の共有を目指しています。

タブレット端末への入力に慣れていない職員も多い中、少しづつ入力内容を増やしてきました。今後さらに入力内容を増やし、ご利用者の体調管理やご家族・関係機関との連携に役立てられるようになるよう、頑張りたいと思います。





厨房から

免疫力を上げるには

感染症から身を守るために、手指の洗浄や消毒も重要ですが、免疫力を上げることも予防には必要です。

免疫力を上げる為には、睡眠を十分に取り、湯舟に浸かり体温を上げ、笑いのある生活（作り笑顔でも可）を送り、腸内環境を整えることで免疫力は上げられます。体調や体质によって個人差がありますが、発酵食品（味噌やしょうゆ、ヨーグルトや納豆、漬物）を食べたり、オリゴ糖や食物繊維を摂ることで腸内環境を整えられます。

安誠園でも、毎日味噌汁やヨーグルトや漬物などの提供も行い、腸内環境が整うような食事提供を行っていきたいと思います。



医務室から

感染症対策について

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、安誠園では、自施設で陽性者の発生を防げなかった反省と再発防止の観点から、これまでの対策の検証を行っています。

あらたに設置した「感染症対策委員会」を中心にして、予防対策、初動対応、備蓄、外部関係などのテーマごとに、見落としていたこと、充実が必要なこと、訓練などを多職種で検討しています。

中でも、ゾーニングなどの陽性者対応では、県の「e-MAT」制度により感染管理認定看護師の指導を受けました。

また、職員一人ひとりも厳しい体験を経て予防の大切さを身に染みて理解しております。

今後とも感染症対策に職員一丸となって前向きに取り組んでまいります。



ケアワーカーから

笑顔が大切

現在、安誠園ではコロナ禍により園内外の行事等が行えない状況が続いている。そのような状況の中でも、ご利用者に楽しく穏やかな生活を送っていただけるよう、笑顔でコミュニケーションを取ることを心掛けています。

日々の介護に追われていると、笑顔でいることを忘れてしまいがちです。大変なこともありますですが、ご利用者の笑顔を見ると、「私たち職員も頑張ろう！」という気持ちになれます。認知症のご利用者からは、特に変化を感じます。職員が笑顔で穏やかに接することで、暴言や徘徊等の症状が落ち着くこともあります。

これからもご利用者のたくさんの笑顔が見られるよう、初心にかえって日々の介護に取り組んでいきたいと思っています。



本庄デイ・サービスセンター

昨年から続く世界的規模での新型コロナウイルス感染症の流行により、今年に入り当センターにおいても様々な影響から一時休止せざるを得ない状況となりました。楽しみにご利用して頂いておりました皆様、頼りにして頂いていた皆様、関係者の皆様には多大なご迷惑、ご心配をお掛けした事をお詫び申し上げます。

現在、医療の逼迫により罹患しても入院できない等、まだまだ気の抜けない状況ではあります、ワクチン接種や治療薬の開発も進んでおり、この状況を過去の歴史に残る様々な感染症と同様に乗り越えられると信じております。当センターとしても今回の経験を活かし、感染症対策を行いつつ皆様のお役に立てる様に頑張って行きたいと考えております。今後も様々な制約が予想されますが、引き続き各専門職による専門的なケアの提供や親切丁寧なケアの提供を心掛け、地域の皆様に喜んでいただける事業所を目指して参ります。更なる本格的な超高齢社会に向けて住み慣れた環境や地域で安心して自分らしく暮らせるように地域の皆様に信頼して喜んでいただけるデイ・サービスとして、皆様の笑顔が続く様に取り組んで参ります。

本庄デイ・サービスセンター ☎ 0495-22-8055



本庄東地域包括支援センター
電話 0495-22-6262

在宅介護支援センター安誠園
電話 0495-22-7833

本庄東地域包括支援センター

事業所が移転しました

当センターは、令和2年8月に新事業所（本庄市本庄3-1-21）に移転しました。本庄市役所に近くなり来所の相談者が増えています。

新事業所で開催した介護者教室は近隣の皆様が歩いてお見えになり地域の方々との関りがより身近になったように感じました。今後は認知症のオレンジカフェを立ち上げる予定です。地域の皆様に親しみを持つていただけるよう取り組んでいきたいと考えています。

コロナウイルス感染症対策を取りながら相談業務を行っていきますので、高齢者に関することや介護保険に関するなどお気軽にご相談下さい。

在宅介護支援センター安誠園

一口に「老人ホーム」と言いましても

「老人ホーム」という言葉は曖昧で、種類もいろいろあります。いくつか紹介いたします。

・特別養護老人ホーム

要介護3以上の方が対象。入所順は県の定めた優先度で決まります。

・老人保健施設

3か月程度、入所しリハビリを行う施設。入所期間は延長できることもあります。医師が勤務しています。

・サービス付き高齢者向け住宅

介護サービスが付いた住宅です。食事と夜間の介護を提供し、日中は併設のデイ・サービスを利用します。

・グループホーム

認知症の診断を受けた方が対象で、小規模なため、比較的手厚い介護が受けられます。

当事業所では、安誠園に限らず施設入所の相談も受け付けていますので、お気軽にご相談ください。